

学校教育目標	「笑顔がかがやく 子どもが主役の学校」～感動いっぱい 夢いっぱい 一人ひとりのよさや可能性を引き出す教育を推進します～ (知)【ねばり強く取り組む子】 自らの手で課題や問題を粘り強く解決する子を育てます。 (徳)【みとめ合う子】 自他のよさや可能性に気づき、違いを認め、人やものに豊かにかかわる子を育てます。 (体)【たくましい子】 心身ともに健やかな子どもを育てます。 (公)【あいさつする子】 横浜市民として地域を大切に、進んであいさつができ、社会の役に立つ行動ができる子を育てます。 (開)【大好き 庄戸】 国際社会を見据えて広い視野を持ち、柔軟な思考で、幅広い人間関係をつくり、行動できる子を育てます。			
	創立 17 周年	学校長 鈴木則男	副校長 遠藤義臣	2 学期制
	一般学級: 12		個別支援学級: 2	
	児童生徒数: 299 人		主な関係校: 上郷中 上郷小	
	学校概要			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	上郷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する力>	上郷中上郷小 庄戸小	○上郷中ブロック子ども憲章である3つの姿勢を大切にする子ども ○地域との関わりの中で、いろいろなことを積極的に学ぶ姿勢を持つ子ども ・子どもサミットを開催し、上郷中ブロック子ども憲章「[びめをなくす]」「きれいな環境を保つ」「ルールを守る」をテーマに児童生徒のアイデアで小中交流を実施 ・子ども憲章を意識した3つのテーマの中からメインテーマを決め、取組を実施。 ・併設型として、授業研究会での情報交換の場を設定

中期取組目標	○「笑顔がかがやく 子どもが主役の学校」の実現に向けて一人ひとりのよさや可能性を引き出します。 ①主体的な、楽しさを実感できる授業づくりを研究・推進する。…学校は、「学びの場」である。 ・全教職員で、全児童の教育、支援にあたり、学びの連続性(幼保小・小中一貫教育)を推進します。 ②集団生活を通して、互いのよさや違いを認め合える豊かな人権感覚を育てる教育を推進する。…学校は、「集団生活の場」である。 ・いじめは絶対にいけないという風土の育成、あいさつを大切に子どもたちが自己有用感をもち、人と関わりながら楽しく学校生活をおくることができるようにする。 ③家庭、地域と連携して教育活動を行い、信頼される学校づくりを推進する。…学校は、「地域社会の一員」である。 ・PTA、地域、関係機関と連携した支援体制を構築する。職員の危機管理意識を高め、安全教育の推進を図る。
---------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善 (生きてはたらく知)	①国語科を中心に、相手と目的を意識した言語活動を高めるため、授業研究会や研修等を実施する。 ②ブロック(中学年以上)での教科分担制を導入することで、多くの教員による学び合いの環境づくりを整え、主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。 ③朝学習・読書・家庭学習(課題や自主学習等)を活用し、主体的に学ぶ姿勢と基礎基本の定着を図る。
担当	研究推進	
徳	人権・道徳教育 (豊かな心)	①「道徳の時間」の指導を中心に、子どもがよりよく生きようとする道徳実践力を身に付ける。 ②なかよし(縦割り)班活動、異学年交流、あいさつ運動を継続し、多くの人と触れ合い、認め合う活動を実施する。 ③人権週間の取組を軸に誰もが安心して学校生活を過ごす取組をする。
担当	人権教育	
体	健康教育 (健やかな体)	①自らの体力を見つめ、運動習慣を改善しようとする態度を育て、運動時間の確保に取り組む。 ②運動委員会が企画、運営をする児童主体の体力向上につながる活動をする(一校一実践運動 例 長縄、マラソン など) ③学校保健委員会への取組を通して、自らの健康・安全を図ろうとする態度を育て、よりよい生活習慣の定着を図る。
担当	体育部	
公開	学校地域連携	①自然豊かな地域の環境を生かしたり、地域施設と連携したりする授業を実践する。 ②登校班への指導をPTAや地域と協力し、登下校の安全を図る。 ③学校だよりや学校HP、マチコミなどを活用し学校の取組を示すとともに、学校運営協議会の新規開設と地域コーディネーター、支援ボランティアとの連携を進める。
担当	学地連携 生活総合	
いじめへの対応		①定期的なアンケートや保護者面談等で児童の状況を把握し、早期発見に努める。 ②職員全体で児童の様子に目を向ける。また、いじめ防止対策委員会で実態を把握し、組織的に対応し心に寄り添った解決に努める。 ③児童支援専任を中心に、常に情報共有を図り、早期発見、早期対応に努める。
担当	児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		①キャリアステージに応じた目標を設定する。 ②校内研修やメンター研修に多くの職員が関わり、学び続ける教職員としての教師力向上を図る。 ③効果的、効率的に会議を運営し、校務の充実とスリム化を図る。 ④ヘルスマネジメントデーを設定し、全職員で自身の健康や働き方を見つめる意識を高める。
担当	教務部	
児童指導		①「庄戸小学校のやくそく」をもとに、学級指導や朝会などを活用し統一した指導を行い、問題行動の未然防止に努める。 ②「YPアセスメント、横浜プログラム」を活用し、児童の実態に応じ、よりよい人間関係を築けるような指導を行う。 ③より多くの職員が児童の背景について理解するため、児童指導委員会の時間を確保し組織的な対応につなげる。
担当	児童指導部	
ICT情報教育		①GIGAスクール構想に関わり、機器整備を行うとともに、プログラミングに関する学習指導を実践し、一人一台端末の効果的な活用方法の実践に取り組む。 ②情報教育担当や関係機関と連携してスマホの危険を啓発し、情報モラル教育を行うとともに適切に扱えるように情報活用能力の育成を図る。
担当	情報教育	
特別支援教育		①個別指導計画に基づき、ぐんぐん教室の効果的な運営を図る。 ②特別支援コーディネータを中心にコンサルテーションなど専門機関と連携、研修の機会を設け、教職員の特別支援教育に対する理解を深め、効果的な支援・指導につなげる。
担当	特別支援コーディネータ	
担当		